

簿記部

全国大会出場して

部長 3F 中倉 彩華

結果を出せなかったところもありましたが、全国大会で入賞できたことは誇れることなので、これまで熱心に指導してくださった先生方や先輩方には感謝しています。また、残りの部員たちにはこれからも頑張って練習し、今年よりも良い成績を残してほしいと思っています。

私は、七月に東京の明治大学で行われた全国高等学校簿記コンクールに参加してきました。大会は、一部と二部に分かれて行われました。全国のレベルはとても高く、難しい問題ばかりでしたが、最後まで精一杯頑張りました。開会式では貴重なお話も聞くことができ、とても勉強になりました。

今年、私たち簿記部は団体での全国大会出場を目指していました。ですので、個人戦での参加となったことは悔やまれますが、高校最後の年に貴重な体験ができました。これまで部活を通して学んできた

ことを今後に生かしていきたいと思っています。

最後に、大会に出場するにあたって、お世話になった方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。



コンピュータ部

部長 3F 阿部 智

私たちコンピュータ部は、七月二十五日に千葉商科大学で開催された、第二十二回全国高等学校情報処理競技大会に出場しました。

大会当日は、全国から各県の代表として、たくさんの方の選手が集まっており、競技を開始する前から緊張していました。また、今年の大会から問題の出題形式が変わり、それと同じ形式である他県の競技問題等を練習で行いましたが、どうなるのか不安がありました。結果として、団体が全国四

十七都道府県代表校中第四位、個人では私を含む出場した三年生全員が入賞するという成績を残すことができました。目標であった団体優勝には届きませんでした。出場選手全員が全力を出し切ることが出来た大会でした。

また、私は昨年の全国大会では、選手の応援として先輩方と同行させてもらいました。昨年の優勝校は表彰式の時、壇上が上がってから降りて席に着くまで、礼儀正しさを忘れていませんでした。今年の優勝校も礼儀正しさを忘れず、行動していました。全国大会で優勝できるということは、単に試合に勝つということだけでなく、一つ一つの判断力や行動力・態度がしっかり出てくるからこそ、真の意味で強いということをあらためて学ぶことができました。

最後に、この度の全国大会の出場に際し、先生方をはじめ多くの諸先輩方からご支援ご声援を頂きありがとうございました。コンピュータ部に入学して、様々な事を学ばせて頂きました。この経験を今後の人生の糧として頑張っていきたいと思います。

バレー部

副部長 3B 皆川 萌美

私たちは、6月19日に石川県金沢市で開催された北信越大会に出場しました。

北信越大会までの練習では、怪我人が何人かいましたが、それまでにはない良い雰囲気での練習に取り組むことができました。怪我人も途中から練習に合流し、チーム一丸となつて試合に臨めました。

北信越大会当日は全員が良い緊張感を持ってプレーできたと思います。試合には3年生全員が出場し、最後の大会で最後までやってきたすべてを発揮できました。それでも



他県の代表チームの力はかなり強く、結果は初戦敗退でしたが、最後まで芝商バレー部全員で戦うことができてよかったと思うし、後悔はありません。新潟県の代表チームとして北信越大会に出場できたことは私たちの誇りです。

最後まで頑張つてこれたのは学校の先生方、保護者の方や地域の方、学校の友人を含めた皆様の応援のおかげです。どんなときでも全力で応援してください。今までありがとうございました。これからも芝商バレー部をよろしくおねがいします。



陸上競技部

部長 3C 高橋 聡太

私は、六月十八日に行われた北信越大会に四百メートルリレーと千六百メートルリレーの第二走者として出場しました。

今年の私達の目標は、四百メートルリレーは、去年は出れなかったインターハイ出場、千六百メートルリレーは北信越大会三連覇という目標を立てて一生懸命練習に励んできました。

大会当日、初めに行われた四百メートルリレーは、ミスをしてしまい準決勝敗退という結果に終わりとともに悔しく思いました。千六百メートルリレーにまで悪い流れを持ち込みたくないという気持ちで臨みましたが準決勝敗退で終わってしまいました。とても悔い思いの残る結果だったのですが後輩達にはこの経験を生かし、悔いの残らないレースをしてインターハイに出場できるようにこれからも頑張って練習して欲しいです。

最後になりますが、一緒に

練習してきた仲間達、先輩・後輩、支えてくれたマネージャー、熱心に指導してくださった先生、今まで応援支援してくださった家族や多くの方々、本当に感謝しています。ありがとうございました。



同窓会支部活動報告

東京同窓会の近況について

新発田商工高等学校
東京同窓会長(商工第十八回)

松川 吉男

東京同窓会員は(旧)新発田商工高等学校、新発田南高等学校、新発田商業高等学校の卒業生を対象とし、毎年六月

の第一日曜日を総会の日と定め各高等学校長及び本部同窓会長の方々に出席賜わりご協力頂いている次第であります。

私ごとになりますが故郷を離れて四十数年も経過し上京直後は環境の変化にとまどいつつも、仕事に慣れる事から始まり一日でも早い自立を目指して頑張った結果、やつと生活にも安定が見られるようになってからの東京同窓会への出席でしたから同窓会の諸先輩には申し訳ありませんが遅くればせ乍らの入会という事になります。

其の後私が東京同窓会長を拝命して四年目となりますが、会の運営には会員の方々に総会ご案内を送付し、年会員として千円也の納付をお願いしています。総会の際にはご来賓の方々の挨拶と会計報告の後懇親会に移りアトラクションコーナーを設け会の盛り上げを計るようになっています。ところがこの会もご多分に

もれず高齢化が進み、若い方達の入会が難しく何とか方法を考えてみようとき々会合の折協議している状況です。自分自身の時を考えても、

『校名石建設及び校地入口整備』事業

関係各位

新潟県立新発田商業高等学校「校名石建設及び校地入口整備」事業

募金趣意書

謹啓

時下、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、大正六年、現新発田市文化会館の地に新発田町新発田商業学校として母校が開校されてから、九十三年という歳月が経過いたしました。その後、幾多の変遷を経て歴史が作られ、昭和五十八年新潟県立新発田商工高等学校から校名を変更し、新潟県立新発田商業高等学校として板敷の地に新築移転され、現在に至っております。

この間、多くの卒業生が地元は勿論、全国各地、各分野でめざましい活躍をし、社会の進展に大きな貢献をしている事は誠に喜ばしい事であります。

しかしながら、輝かしい伝統を誇り、各界で活躍する同窓生を輩出しておりますが、現在新発田商業高等学校には校門がありません。

校門は全ての生徒が通り抜ける共通のシンボルです。また、生徒、同窓生の一人一人の共通の想いの象徴でもあります。多くの同窓生から、校門の設置を強く要望する声が同窓会へ寄せられております。

有為な卒業生を育成する為にも、通学する生徒を励ます意味も込め、校門を建設する事は、同窓会の大きな使命であると考え、理事会、幹事総会の決議を経て、この度校門建設及び校地入り口整備の為の募金を進める事とさせていただきます。同窓生の皆様には、何卒この主旨をご賢察いただきまして、目的達成の為、絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十二年十月二日

新潟県立新発田商業高等学校同窓会長

嶋谷 次郎八

謹白





新社会人になった時は同窓会の事を考える余裕もありませんでした。がやはり母校の事は何年経つても忘れる事がありませぬ。その証拠に東京同窓会の年会費は毎年150名以上の方が納付されています。その状況をみますと、同窓会に関心があつても一歩が踏み出せないでいる方がいるにではないかと思つてゐる次第です。その卒業生の方々も色々な分野で社会貢献されていると思いますが、同窓会には異業種の方も多くお互いに情報交換の場所としても利用出来ますので出席して頂き、より有意義な会に出来ればと願っております。最後に貴校及び本部同窓会の益々のご発展を祈念致します。

あいさつ

村上市・岩船郡新発田商工高等学校
同窓会長(商工第十回)

村山 信吉

今年の夏は梅雨明けと同時に猛暑が始まり、その暑さが衰えることなく、長い夏だったことが記憶に新しいところです。

さて、県北の村上市・岩船郡の合併で平成二十年四月一日に、新村上市がスタートしました。県北の、新発田商業(商工)の卒業生は多く、旧村上市では、すでに村上地区柴田商工同窓会が設置されていました。しかし、旧岩船郡の町村には同窓会がなかったのです。一つの市になったことを契機に、新たな同窓会を立ち上げようとの声が上がってきました。合併二年目に入った昨年五月に設立準備会を、三十名程の有志でスタートしました。そこへ関川村・粟島浦村の同窓生も加わり、名称を「村上市・岩船郡新発田商工高等学校同窓会」と決め、準備に入りました。同窓会開催案内発送や、ポスターを作るにも資金が全くなく、資金集めのため同窓会開催お知らせの新聞折込みにスポンサー名を入れる



お願いから始めました。八回開催準備会を開催し、十一月十四日に記念すべき第一回同窓会を開催することができました。当日は、石井校長先生、嶋谷同窓会長さんにご臨席を頂き、吹奏楽部の皆さんにも演奏で盛上げて頂いたことを、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

村上地区において、新発田商業の伝統継承と同窓生交流のため、微力ながら頑張つてまいる所存です。

終りに、同窓会会員皆様の更なるご活躍とご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

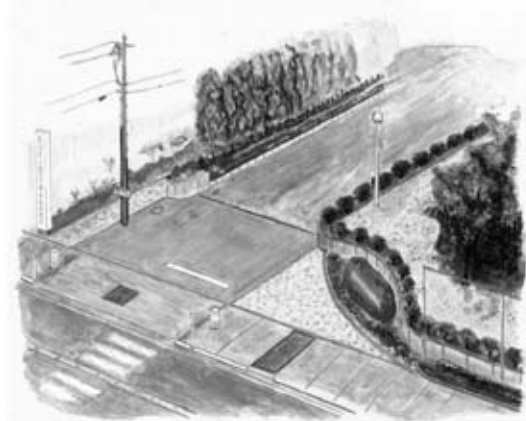
記

1 事業内容(新潟県に寄贈)

- (1) 校名石(安田石三: $0\text{m} \times 1.9\text{m} \times 1.0\text{m}$ ・黒御影石銘板) 壹百参拾萬円
- (2) 校名石設置及び校地入口整備(擁壁工事・樹木移設等) 壹百七拾萬円

2 募金内容

- (1) 募金額 伍阡円(一口)
- (2) 募金対象 一口以上お願いできれば幸いです。
- (1) 平成二十一年度までの新発田商業高等学校同窓会員
- (2) 新発田商業高等学校同窓会特別会員
- (3) 趣旨に賛同する篤志者
- (3) 募金目標額 参百萬円
- (4) 募金期間 平成二十二年十月二日〜平成二十三年一月末日
- (5) 納入方法 添付の郵便事業会社郵便振替票にて振込み願います。



完成予想図

【問い合わせ先】

〒957-8558

新潟県新発田市板敷521-1

新潟県立新発田商業高等学校

渉外部(同窓会担当 大竹・服部)

TEL: 0254-26-1388(代表)

FAX: 0254-26-8547

e-mail: school@shibatash-h.nein.ed.jp

「東京新潟県人会」巻頭シリーズ

●我がふるさと・わが母校 ⑤6



連載私の思い出 (第一回)

県立新発田商業学校の始まり

「校友」の編集後記より

昭和七年一月に校友会誌が発刊されている。時の校長、寺岡平藏が「お互いの足らぬ點を補足するばかりでなく云ひ知れぬ樂しさを御互いに感じ合ふ様に致したい。そこで「校友」の創刊を思ひ立つた次第である。」という。

今という生徒会誌であるが、同窓会誌にもなっており、同窓會長も寺岡校長が兼ねている。

実は、昭和5年6月5日、新発田商業学校は県立に移管している。県立に移管するにあたって、新発田町は施設の整備を県から求められ、新発田城三の丸から清水谷の広い地に移している。そして、それを契機に、校友会誌を発刊したのであろう。昭和七年の編集後記に、「新校舎移轉と共に、加速度的に内容の充實を圖り來たつた本校の對外的事業の一、芝商會誌創刊號成りて、茲に諸士に見えるを得たるは欣悦とするところである。」とある。また、この同窓會誌部分を読むと、「昭和七年度總會は新人會員の歓迎を兼ねて三月十日午後六時よりシマヤに於いて開催左の順序に依つて盛會を極む」とある。

大正六年の創立から15年、学校としての創成期を築いていただいた方々の熱い精神を感じるものがある。

（石井哲彰 記）

(石井哲彰 記)



新発田商業学校時代の思い出

旧商二十一回 高橋 善夫

当時商業高校は、二クラス百名募集、商家の子は特別の事情でもない限り、秀才・鈍才に関係なく商業への進学が当たり前と思われておった事と、

中学は新発田と村上・村松の三校に対して商業は新発田だけの事と重なり県北より新津まで志望者が集中した為もあり、難関であった。受験日も別だったので滑り止めに中学も受験した者も何人かいた。昭和十年は後で聞いた話では競争率が二倍以上だったとか、入学時クラス五十一・二名だったのが三年終了時に家業見習いの為、中退する者も有り卒業は四十二名だった。

在学中組替えもなく四年終了迄クラス担任は佐々木長一先生(渾名が軍鶏)で転勤により五年の時、担任が中山健吉先生に代わる。

入学早々軍鶏先生より「諸君が本校の生徒と成ったからには義務教育では無いので自分に責任を持って、甘えは許されない。場合によっては退学

又は放校処分と云う事もある」と一発脅かされる。

一年の二学期早々の九月三日、町の中心部を焼き尽くす大火、クラスでも罹災者出る。佐々木軍鶏先生には随分とシゴカレタ事も多い。球技、柔剣道、マラソン等は殆どクラス対抗戦だったから他のクラスには「絶対負けるな」が一つの指針であり負けた時は足を引く張った成績の者、特にマラソン大会では優勝出来なかった時等は、ビリからの決まった顔ぶれは絶好のシゴキの対象だった。

商業の運動会には新発田幼稚園の園児の遊戯の披露が恒例だった。之は開校当時同じ敷地内に在った縁による。

時勢の為か節目々々の出来事には良くぶつかった。商業学校で恒例の実習販売会も私達の一年生の時大火で中止、翌年大火復興記念が最後ではなかったか。戦時体勢から修学旅行も一年上のクラス迄で中止、五年生の秋軍事教練の

配属将校令制定十五周年と云う事で県内の中等学校以上高等専門学校、新潟医大迄全校最終学年の全員参加での記念合同演習で、村松練兵場で東西両軍の遭遇戦で終了、其の後同練兵場で参加各校、校旗を先頭に全員で東久邇宮稔彦中将宮殿下をお迎えして閲兵分列式が行われた。軍事教練の最初で最後の大イベントであった。

その他山岳スキー部では商業開校以来最初の筈だが部長廣瀬勘十郎先生のもと奥日光縦走(四泊五日)・スキーでの蔵王ツアー(一泊二日)と県外

遠征を行った事。

卒業に際して恒例の送別コンパは時局柄絶対駄目と釘を刺されたが、当夜満州へ出発の者もあり派手にやったのがバレ一時卒業取消しとの話も出たが既に出発の者もあり操行不良と一階級操行を下げられ一件落着。戦後佐々木先生の所在が判りクラス会にお招きした時、時勢とは云い諸君には随分無理な事を強いた事を詫びたくて参上したとの事に出席の全員から、特にシゴカレタ連中が皆無事戦地より復員出来たのも先生のお陰との発言に、思いもよらないお

新発田商工高校時代の思い出

商工三十一回 河栗 陽子



昭和五十三年四月 新発田商工高等学校の門をくぐりました。

校舎は、現在の場所ではなく今の南高校の場所にあり、見るからに伝統のある学校だなというのが私の第一印象でした。

担任の先生は、石山先生。先生には三年間お世話になり厳

話、今日の日は終生忘れられないと落涙された。二年程後に亡くなられたのも忘れられない。四十二人卒業の中、福島

高商・東京商大(現一橋)・東京物理(現理科大)・日大各一、早大三人、明大二人と八人の進学も微兵猶与がらみとは云い珍しいクラスだった。又クラスの二割位戦没して居るのに陸海軍の飛行搭乗員五人居り乍ら、中には沖縄・硫黄島等へ偵察又は爆撃等で僚機未帰還の中全員無事復員したのも運の好いのが揃ったと云う事では無からうかとも思う。

班で計画を立てての行動。私達は、嵯峨野方面に決め寺院廻り、竹林散策渡月橋など廻りました。昼食は湯豆腐料理を食べ、京都気分を満喫しました。また修学旅行ではいろいろ考えさせられる出来事もあり忘れられない旅となりました。

体育祭も忘れられない思い出の一つでしょう。一年時のあのつらい応援練習、三年生の応援団の掛け声に合わせたエール、声を出しながらの腕よげ、腕が落ちてくると後ろ

平成21年度 役員・理事一覧表

役 職	卒 業 回	氏 名
顧 問	商 21回	井 岡 博 男
顧 問	商工 5回	高 木 二三男

役 職	卒 業 回	氏 名
会 長	商工 10回	嶋 谷 次郎八
副会長	商工 14回	石 山 勝 秋
副会長	商工 20回	椎 谷 和 男
監 事	商工 10回	高 澤 健 吾
監 事	商工 10回	並 松 誠

役 職	卒 業 回	氏 名
理事長	商工 18回	和 田 孝 一
理 事	商工 18回	長下部 眞廣
理 事	商工 20回	関 行 男
理 事	商工 20回	清 田 博
理 事	商工 29回	河 栗 浩 則
理 事	商工 31回	石 黒 一 彦
理 事	商工 31回	河 栗 陽 子
理 事	商工 31回	高 橋 万里子
理 事	商工 32回	星 野 忠 太
理 事	商工 32回	内 田 弘
理 事	商高 3回	金 子 俊 文
理 事	商高 18回	飯 沼 龍 平
理 事	商高 23回	佐 久 間 健 人

役 職	氏 名
学 校 長	石 井 哲 彰
教 頭	遠 宮 武 志
事 務 長	肥 田 野 一 博
事務局(渉外部長)	大 竹 賢 造
事 務 局 (PTA)	太 田 純 雄
事 務 局 (同 窓 会)	服 部 洋 平



ホームページアドレス
<http://www.shibatas-h.nein.ed.jp>

最後に、玲瓏第22号発行にあたり、多くの方々にご指導ご協力をいただき深く感謝申し上げます。この会報を読み、同窓会の活動に参加される方が増えることを心から願っています。
同窓会事務局
服部洋平



京都 渡月橋

我が母校は高校時代に各種資格も取得でき社会に出て即戦力となる様に先生方には一生懸命に指導して頂き、私はこの学校に入学し、卒業で

『実践』の授業が一番印象に残っています。商業高校ならではの授業です。会社の仕組み、取り引きの仕組みを勉強させて頂く重要な授業だったと思います。



開校式(校旗樹立)・黒松植樹式

昭和58年10月29日、10:00～11:00開校式及び校旗樹立(体育館)、11:00～11:20植樹式(玄関前)、設置者君健男知事列席により執り行われる。黒松の価格は40万円、新潟市秋葉区から購入とのことである。式典列席者203名、祝賀会153名の参加であった。学校入り口の赤松もまだ商工高校から運ばれてなく、周りは家もなく道路は砂利敷きであった。

最後に、玲瓏第22号発行にあたり、多くの方々にご指導ご協力をいただき深く感謝申し上げます。この会報を読み、同窓会の活動に参加される方が増えることを心から願っています。
同窓会事務局
服部洋平

編集後記

今後とも渉外部一員となつて同窓会報作成にあたり、同窓会の活動や学校の様子がわかる会報となるよう尽力していきたいと思ひます。ので、ご協力お願いいたします。

本号では、新コーナーとして昔の思い出や、同窓会の東京支部や村上支部の活動報告を掲載しました。昔の思い出を読み高校時代を思い出しませんか。また、支部の活動などを読むことで、少しでも同窓会の活動内容を知ることができたのではないかと思います。



新潟県立新発田商業高等学校
SHIBATA COMMERCIAL SENIOR HIGH SCHOOL
SINCE 1917

